



イマジン ロータリー

起承転結

例会日 毎週水曜日 12:30~ 例会場 ホテルシーズン日南
住所 日南市園田 3-11-1 TEL 0987-22-5151 FAX 0987-22-9588



会長 入中英雄

平和構築と紛争予防月間

第 3320 回例会	No27	2023. 02. 15	晴れ
点鐘・国歌・ロータリーソング	12 時 30 分 「日も風も星も」		
四 つ の テ ス ト	村社浩二 君		
例 会 行 事	委員会アワー (職業奉仕委員会)		

会長時間

黒岩久登会長エレクト



今日は入中会長がお休みということなので代理で会長あいさつと会長時間を務めさせていただきます。

先日都城でクラブ活性化セミナーが開催され参加してきましたので、その時の話をします。参加者は約150名で10時30分から15時30分までのおおよそ5時間拘束されました。まず事前に資料がメールで届き、詳しい資料は付属のqrコードから読み取ってくださいということでしたが、その資料が約30枚程度ありました。プログラムなどは確認しましたが全部に目を通す事はしませんでした。会場のホテルに着くとまずは受付です。資料はダウンロードされましたか?と聞かれましたが、いいえと答えると紙の資料を渡されました。おおよそ10枚の資料です。参加者の名前とクラブを確認すると宮崎県南部グループからは私と田上ガバナー補佐の名前があります。中央は来ていないとおもいながら分科会のグループ分けをみると15人くりの分科会の中で宮崎県人は私だけでした。おいおい分科会の中での発言はいいとしても司会と各グループからの発表は勘弁してよと考えると、いよいよ開会の点鐘です。今回のテーマはwithコロナとクラブ活性化。初めて参加の、休日をわざわざつぶしてまでの会議なのでちょっと楽しみです。開会挨拶、ガバナー挨拶、趣旨説明、淡々とプログラム通りに進みます。次は居心地の良いクラブとはという問題提起のタイトルで延岡東ロータリークラブの地区研修リーダー野中玄雄パストガバナーのお話です。まさに立て板にみずの例え通り素晴らしい言葉を紡いでいかれます。

一説を引用しますと、世界中には様々なクラブという名のつくクラブが存在するが、それらのクラブと比べながらロータリークラブの特徴を確かめる視点が大事という事でした。またクラブという定義について、同じ目的の人々が作った団体、また、その集まりの場所。会員制の集まり、社交・親睦団体などを指す。とおっしゃられました。その中でクラブを漢字にすると人偏に具と楽しい部の倶楽部と苦しいと楽しいを合わせた苦楽部があり、後者は苦しみを楽しむ倶楽部という事ですといわれましたが、私はその字は苦しい事も楽しい事もあるという意味で受け取ってましたので、パストガバナーの前向きな考えには感服させられました。またロータリーの命は例会、ロータリーの光は出席と寄付であり、ロータリーは学びと奉仕と親睦であると結んでおられます。

その後各クラブ、ガバナー補佐による事例発表があり、我が串間ロータリークラブは福島高校と共同でフィリピンに物資を送られた発表がありました。後は地区補助金を使った事業、グローバル補助金を使った事業などの発表がありました。一番多かった金額は鹿屋ロータリークラブの177万でした。会場からどよめきがあがりました。この各ロータリークラブの事業の説明で資料のページ数が増えていたようです。昼食後はいよいよ分科会です。30分で食事をすませすぐに状況報告です。私は宮崎から一人の参加でしたので全ての質問に答えま。他のクラブはそれぞれの質問に違う人が答えていきます。私は司会進行と全体会での発表が回避できたようなので安心して返答します。その分科会の中で例会の回数の質問があり、鹿児島島のクラブは概ね月に3回から4回の開催でした。日南さんとは聞かれ、ゴールデンウィーク、お盆休み、正月、祝日がかぶった日以外は

毎週水曜日に開催しますと発表しますと皆さんに驚かれました。じゃあ月に水曜日が5回ある月は5回の開催ですかと聞かれ、はいそうですと答えておきました。鹿児島県のクラブも悩みは同じで新入会員の確保と女性会員の確保が難しいということでした。薩摩川内のクラブは会員73名で女性は1人も在籍しておらず特に勧誘はしていないとの事でした。その後分科会は終了し全体会にて各グループの発表です。私の言葉もグループ代表が伝えてくれていますが、発表のさなか、さっきから鐘を鳴らすような音がチンチンなっています。静まりかえった会場に響く鐘の音。誰かのいやがらせかヤジか?と想着いましたら、鐘の音1回は持ち時間3分前、2回は1分前との説明。最初に言ってくれ。気になって発表をだいぶ聞き逃しました。その後閉会となり私は3番くらいに会場を後にしました。

幹事報告

- 1) 小林ロータリークラブより、例会場変更のお願いが届いております。

スマイル

峰松俊夫君 本日午前中に某会員に会員の仕事上にかかわる相談をさせていただきました。(予約ですが)職業奉仕のすばらしさを実感することができました。

例会行事

委員会アワー (職業奉仕委員会) 委員長 築瀬 敦君

本日は私の職業である自動車の車検制度についてお話しします。



車検と一言で言いますが、実は点検と整備に分かれていることをご存じでしょうか。国で定められた項目の点検をすることがいわゆる車検ということになります。その検査に合格すれば公道を走ることができます。不合格の部分合格できるようすることが車検整備となります。定められた項目とは、資料にある通りです。

パワーステアリングの項目にベルトやオイルとありますが、最近は電動パワステが多いのでベルト、オイルの点検はする必要はありません。点火装置についても省略可能であつたり車両に搭載されていないものなども項目に出ますが、搭載されていないことを確認するというようにチェックします。バッテリーなどはしばらく乗らないからと自分でマイナス端子を外す人がいまして締め付けが甘い場合が多く点検するとき注意が必要です。緩んでいると火花が発生し車両火災に至る場合もありますので。室内での点検は、車両を移動するときに確認をします。ペダルの遊びなどはちょっと移動させれば異常はすぐわかります。

足回りに関しては特にブレーキですが、車検整備の中でほとんどを占めるといっても過言ではありません。ひと昔前はブレーキのゴムの部品を車検ごとに交換していました。ブレーキのオイルが漏れることが多かったからです。現在は材質が良くなりましたので動きが悪かったり、漏れがない限り交換することはなくなりました。オイルの漏れなどは、駐車場がちょっと汚れるくらいの漏れでしたら大丈夫です。しずくがスタスタ落ちるといけません。マフラーは排気漏れや音が以上に大きくなければいいです。

ここ最近追加された項目がOBD診断です。これは現在、いくつかの項目をメーター内のランプを確認すればOKです。数年後にはキーブレンシステムなども検査の対象となります。国の機関と通信してコンピューター内を診断し、それで異常がなければ合格となります。

今後は運転支援システムなどが車検の項目に含まれてきますので故障していると車検に通ることができません。修理が高額になる恐れがありますので走行に支障がなくても早めに修理して車検と被らないようにすると一度に多額の出費を抑えられるんじゃないかなと個人的には思っています。

出席率報告

	会員数	出席免除	出席定数	HC出席	MU	欠席	出席	出席率
今週	29	4	25	18	4	3	22	88.00%
出席免除	清水、渡邊、土屋、落丸							
先取MU	入中、竹井、甲斐、日高							
欠席	榎木田、齋藤(奈)、飯干							